※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和７年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　新総合地理（帝国書院）　　詳解現代地図　最新版（二宮書店）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE2025　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理には「何でそうなるのか」という理由があり、単に用語や地名を覚える（丸暗記する）のではなく、しっかりと理解することが大切である。
・地図や統計図表、写真などを使用して、それらを読みとる能力や理解度を試す出題が入試で中心となっており、覚えることも大切であるが、「理解」することの方がもっと重要である。

２　学習の到達目標

①現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景を学ぶ。
②日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養う。
③地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	地理的事象から課題を見いだし、世界の生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成するとしての責任を果たそうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	地球上の位置	地球上の位置は緯度や軽度で表すことができる。	a:緯度経度の基本的な仕組み、緯度の違いが生活に与える影響について理解している。 b: :緯度経度の基本的な仕組み、緯度の違いが生活に与える影響について、多面的　多角的に考察する。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	
	地球儀と地図	私たちの身の回りには、様々な地図があふれている。地図にはどのような役割や種類があるのかを学習する。	a:球体の地球と平面の地図、様々な地図の投影法を理解している。 b: :球体の地球と平面の地図、様々な地図の投影法について多面的　多角的に考察する。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	
	地理情報システム	地理情報システムはどのように活用されているか学習する。	a:地理情報システムの仕組みやこれを支える技術。活用場面を理解している。 b: 地理情報システムについて多面的　多角的に考察している。 c: 地理情報システムについてよりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	レポート 発表
	現代世界の国家と領域	1国家の領域や国境にはどのような決まりがあるか学習する。	a:国家の種類、領域、国家の主権について理解している。 b:　国家の種類、領域、国家の主権について、多角的に考察している。 c: 国家の種類、領域、国家の主権について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	レポート 発表
		2日本の位置や領域、排他的経済水域にはどのような特徴があるか学習する。	a:日本の位置と領域、排他的経済水域について理解している。 b:日本の領土をめぐる問題について、多角的に考察している。 c: 日本の領土をめぐる問題について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

一学期	大地形　変動帯　安定地域	・世界の大地形と人々の生活 ・変動帯と人々の生活 ・安定地域とひとびとの生活	a：大地形を構成する変動帯と安定地域について理解している。 b：大地形を構成する変動帯と安定地域について多面的　多角的に考察している。 c：変動帯のプレート境界と生活への影響についてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	レポート 発表
	河川が作る地形	・河川がつくる地形が私たちの生活に与える影響 ・海岸の地形と人々の生活	a：世界の様々な地形に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b：それぞれの地形の地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c：それぞれの地形に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	レポート 発表
	世界の気候と人々の生活	・生活と気候のかかわり ・熱帯の気候と人々の生活 ・乾燥帯の気候と人々の生活 ・温帯の気候と人々の生活・亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	a：気候が生活に与える影響が理解できている b：大気の循環や恒常風の仕組みを理解して生活との関連について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c：各気候帯の特徴を理解しよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	レポート 発表
二学期	オセアニア	・乾燥した大陸と多くの島々からなるオセアニアの地形や気候の多様性 ・このような自然環境を生かしてどのような生活文化やどのような産業が生まれてきたか	a：オセアニアの自然環境の多様さが理解できている b：自然環境の中でどのような農業がおこなわれてきたか理解して多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	

※令和４年度以降入学生用

二学期	東南アジア	東南アジアはモンスーンの影響を強く受けてきた地域である。このような自然環境の中で東南アジアではどのような生活文化がはぐくまれてきたのか。	a:モンスーンを利用した稲作と米食文化を理解している。 b: について多面的　多角的に考察している。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	
	言語と宗教	世界には、多くの言語が存在し、さまざまな宗教が信仰されている。言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えているか考察する。	a:言語と民族の関わり、公用語と人々の生活への影響を理解している。 b:宗教と生活の関わりについて多面的　多角的に考察している。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	
	中央アジア　西アジア　北アフリカ	中央アジアから北アフリカにかけてはイスラームを信仰する人々が多い。人々の生活文化が宗教からどのような影響をうけているか考察する。 ・乾燥地域で暮らすムスリムの生活文化。 ・この地域の言語集団 ・石油資源がもたらした生活の変化	a:言語と民族の関わり、公用語と人々の生活への影響を理解している。 b: この地域の中で三つの言語集団の地域差について多面的　多角的に考察している。 c: 石油資源がもたらしたこの地域の変化と日本に与える影響について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	レポート 発表
	東アジア	東アジアでは第二次大戦後に急速に経済成長が進んだ。経済成長が進んだ結果、人々の生活はどのように変化したか考察する。 ・市場経済の導入で中国の社会はどう変化したか。 ・経済成長によって韓国の人々の生活はどのように変化したか。	a:東アジアの経済成長について理解している。 b:中国の市場経済の導入や韓国の経済政策と成長について、多面的・多角的に考察し表現している。 c:東アジアの経済成長が日本にどのような影響を与えているかよりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	レポート 発表
	ヨーロッパ	二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合が進められている。EUの統合によって人々の生活文化がどのように変化したか考察する。 ・EU 諸国の工業の発展や社会の変化 ・EUの変化で農業はどう変化したか	a:EUについて理解している。 b: EU諸国の工業や農業の特徴について多面的　多角的に考察して表現している。 c:地域統合によって変化した生活と、ＥＵの抱える課題を分析し、主体的に追及、解決しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	

※令和４年度以降入学生用

三学期	地球環境問題	私たちが住む地球の各地では、世界ではどのような環境問題がみられ、どのような取り組みが行われているか考察する。	a:どのよう地球環境問題があるかを理解している。 b: 地球環境問題解決の取り組みについて多面的　多角的に考察し表現している。 c: 私たちの生活とかかわる環境問題について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	レポート 発表
	人口問題	世界の人口分布には偏りがあり、人口増加の傾向や構成も地域によって異なっている。人口問題に対して、どのような対策が取られているか考察する	a:人口増加、人口分布、人口ピラミッドを理解している。 b: 発展途上国の人口問題、先進国の人口問題についてについて多面的　多角的に考察し表現している。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	
	食糧問題	世界には飢餓に苦しむ人がいる一方で、飽食が問題になっている国もある。このような食糧需給のかたよりが生じるのはなぜだろうか。食糧問題解決にはどのような取り組みが必要か考察する。	a:食糧問題について理解している。 b: 食糧問題の解決について多面的　多角的に考察し表現している。 c: 食糧問題について、私たち自身ができることを考察し　よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	レポート 発表
	日本の自然環境	日本の自然環境 ・日本の地形 ・日本の気候	a:プレートの重なり合う日本列島の特殊性を理解している。 b: 明瞭な季節変化、降水量の季節変化など日本の気候の特徴について多面的　多角的に考察し表現している。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	
三学期	地震　津波	変動帯に位置する日本は数多くの地震によってさまざまな被害を受けてきた。地震や津波の発生に備えて、どのような備えと取り組みが必要か考察する。	a:地震の種類と特徴、震災の被害を理解している。 b: 津波による洪水の発生についてその対策について多面的　多角的に考察し表現している。 c: 東日本大震災と阪神・淡路大震災の災害と防災について学び私たちがいま取り組まなければならない課題について主体的に追究、解決しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	レポート 発表

表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和７年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新詳「地理探究」（帝国書院）　新詳高等地図(帝国書院)						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE2023　（帝国書院） ウィニングコンパス「地理の整理と演習 2025」（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理の勉強というと、やみくもに国名・地名などの暗記のような知識偏重の学習を想像しがちですが、知識と思考は地理学習の両輪です。知識があるから地理的な思考ができるのと同様に、思考力があるから地理的知識を頭の中で整理して、論理立てたり、系統立てたりできるのです。地理探究では、遠く離れた地域の人々の生活様式や文物のつながりを、自然環境や歴史事象と関連付けて勉強します。世界の人々とつながって、これからの社会を生きていくためにも、有用な時間になればよいと願っています。

2　学習の到達目標

① 現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し，地理的認識を養います。
② １年次の地理総合で取り上げられなかった諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，地理的認識を養います。
③ 地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養います。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 地図や統計，画像など地域に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め，それを意識的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる責任を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	自然と生活・環境問題	地形や気候などの自然環境が居住する人々の生活様式、生活文化にどのような影響を与えているかを考察する。それぞれの環境問題について，各種資料で発生の経緯や分布を確認し，現状や今後の対策について考察する。	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:自然環境と生活様式の関連、環境問題発生の原因と背景、結果や対策について考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	発表 振り返り
	資源と産業	世界の交通・通信・貿易・観光等の特徴や発達，グローバル化する変化，現代の流通・消費とその課題を考察する。工業の種類と立地，歴史的な変容について，具体的な事例を通して考察する。資源・エネルギーに関して、分布図や統計資料を活用し，その特色や変容について考察、分析する。	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:産業構造とその変容について具体的な事例を交えて考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	発表 振り返り
二学期	人口と村落・都市	世界の村落・都市に関する分布や変化、都市の成立要因や発展過程に着目し，具体的事例を踏まえながらその特徴や機能を類型化するとともに、都市問題の課題を考察する。人口の分布と変化に着目し、人口問題を経済的な側面から考察する。	a: 基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:人口問題と都市問題の背景、課題と対策について考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	発表 振り返り

※令和４年度以降入学生用

	民族と宗教	世界の民族・宗教の分布について基礎的・基本的な知識や概念を理解する。宗教と生活文化のかかわりを１考察する。	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:世界の民族と宗教分布、歴史的な成り立ち、相互の対立とその背景などについて考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	発表 振り返り
	現代世界の地誌的考察	各地域の自然，資源・産業，民族・文化、歴史的背景，産業・生活の変化，資源開発，世界との結びつきを考察する。各地域が抱える課題について考察する。	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:世界の諸地域に暮らす人々の生活、社会の変容について自然環境、社会環境と関連付けて考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	発表 振り返り
三学期				授業観察 レポート	授業観察 レポート	レポート 振り返り
	現代世界におけるこれからの日本の国土像	日本が抱える地理的な諸課題を、これまでの内容を踏まえて理解し、考察・分析する。 諸課題の解決を通して、仮説を立てて検証し、結論を導く探究の手法を理解する。	a:日本の自然に関する知識、資源・産業・都市・人口に関する知識を活用し、将来の日本の国土像を理解する。 b:日本の国土が抱える課題と、身近な生活環境を関連付けて考察・分析し、表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	授業観察 レポート	授業観察 レポート	発表 レポート 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和７年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「明解歴史総合」（帝国書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合では、人間の歩みについて、近代・現代に焦点をあて、世界とそのなかにおける日本の歩みと関連付けながら学習します。ここ数百年の歴史を考えてみると、日本の歴史は海外の動向を無視して理解することはほとんど不可能です。そして、世界とのつながりはますます深くなっています。過去の歴史、とりわけ人類の歴史の最も新しい部分を学ぶことは、将来のより良い日本あるいは世界をつくっていくことにつながるはずです。皆さんが歴史総合を学ぶことで平和で民主的な国家、世界を形成する一員としての自覚を持ち、その資質・能力を身につけることを期待します。

2　学習の到達目標

①近現代の歴史の変化に関わる知識や概念を理解するとともに、諸資料を読み取る、歴史事象を多面的・多角的に考察する技能を身につける。
②歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする。
③グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を育てる。歴史的な課題を解決する構想をする力を養い、世界市民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史が理解できる。 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身についている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察できる。 歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力が身についている。 考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論ができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究・解決する態度が身についている。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さが自覚できている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歴史の扉	オリエンテーション 歴史の特質と資料:グラフ・写真などの資料からテーマの内容を理解し、考える。	a: 資料に基づいて歴史が叙述されていることが理解できる。 b: 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現できる。 c:教科書や資料集などの歴史資料に興味を持つ	確認テスト 定期考査	定期考査	振り返りシート
	近代化と私たち	近代化が私たちの生活に与えた影響や生活の様子の変化をグラフ・写真などの資料から理解し、考察する。	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できる。 c:資料を読んでもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを挙げている。	定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
2学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	20世紀に生じた2つの世界大戦が国際社会に与えた影響や大衆の変化をグラフ・写真などの資料から理解し、考察する。	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できる。 c:資料を読んでもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを挙げている。	定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
3学期	グローバル化と私たち	経済と社会のグローバル化の影響と人々の暮らしの変化をグラフ・写真などの資料から理解し、考察する。	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できる。 c:資料を読んでもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを挙げている。	定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和７年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	５単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史」（山川出版社）						
副教材等	「アカデミア世界史」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史の勉強というと知識偏重になりがちですが、知識と思考は歴史学習の両輪です。知識があるから歴史的な思考ができるのと同様に、思考力があるから知識を頭の中で整理して、順序だてたり、系統立てたりできるのです。世界史探究では、遠く離れた地域の人々や文物のつながり、遠い過去の出来事が、時間を隔てた未来に影響を及ぼす様を勉強します。体系的な知識を身につけた上で、歴史への理解を深めていってください。これからの社会を生きていく上で有用となるかどうかは授業をうける生徒のみなさんの姿勢にかかっています。

2　学習の到達目標

知識・技能
・空間軸にしたがって、さまざまな地域の出来事や文物の相互の関連を理解できる。
・時間軸にしたがって、過去の出来事が後世に与えた影響を理解できる。
思考・判断・表現
・各地域・各時代に視点をおき、多様な観点からものごとを相対的に考察できる。
・情報や資料を精査し、知識を系統立てて整理して、思考を表現できる。
主体的に学習に取り組む態度
・歴史を現代の諸課題に関連づけ、世界市民の一員としてグローバルな視点から学ぶことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界各地の歴史と文化の特色について、基本的なことがらを理解し、その知識を体系的に身につけている。	史資料から、世界各地の人々の生活や文化のあり様やその根源のありかを読み取り、多面的・多角的に分析し、多様な視点からものごとを考え、自らの考えを表現している。	世界各地の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、日本社会に生きる市民として、主体的に現代の諸課題を解決するために学んだ知見を活かそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	諸地域の歴史的特質の形成	・文明の成立と古代文明の特質	a:都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解するとともに、オリエント・南アジア・中国・南北アメリカの諸文明の地域的な差異についても理解する。 b:ハンムラビ法典・死者の書などの文献・絵画に加え、遺跡の写真などを使い、各地の文明の特質を考察する。 c:宗教・暦・生活様式など古代に誕生した文物が現代にあたえている影響を主体的にとらえようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表
		・中央ユーラシアと東アジア世界	a:草原世界と農耕世界を対照的に捉え、相互の関わりについて理解している。 b:草原世界と農耕世界のそれぞれの歴史が相互の展開にどのように影響を与えたのか考察する。 c:日本を東アジア文化圏のなかに位置づけ、大陸からの影響を現在の生活のなかに見出そうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

		・南アジア世界と東南アジア世界の展開	a:インドの諸宗教が南アジア・東南アジア世界の形成にあたえたこと、東南アジアの地理的環境と大陸部・島嶼部での国家の成立について理解している。 b: 仏教の成立から展開、衰退を踏まえ、人間にとっての宗教の社会的な役割を考察する。東南アジアの風土や地形をふまえ、南アジアや中国との関係を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 南アジアで生まれた諸宗教および東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表
		・西アジアと地中海周辺の国家形成	a:西アジアの諸帝国と地中海周辺に形成された諸国とのかかわりおよび地中海世界の成立と発展について理解している。 b:イラン文明が世界の諸地域に与えた影響、ギリシアの人の社会の特徴、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由、キリスト教の成立を多面的・多角的に考察し表現している。 c: イラン文明・古代ギリシア・古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

		・イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	a:イスラーム教の成立の経緯や短期間での勢力拡大について理解している。西ヨーロッパ世界と東ヨーロッパ世界がどのように成立したのかを理解している。 b:イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料をもとに、イスラーム教が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c:イスラーム教の成立とその拡大、ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問，追究してみたいことなどを見いだして，見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表
	諸地域の交流・再編	・イスラーム教の伝播と西アジアの動向	a:アッバース朝の衰退後、政治的統一は失われたが、ムスリムの連帯が維持されたこと、また中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。 b:資料をもとに、イスラーム教の伝播にトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c:イスラーム教の各地への伝播西アジア諸地域の変動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

2学期		・ヨーロッパ世界の変容と展開	a：ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について理解している。商業の発達からはじまる封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。 b：ビザンツ帝国の衰退の要因、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響、大憲章や金印勅書などの資料をもとに中央集権国家の形成に向けた各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。 c：東ヨーロッパ世界や西ヨーロッパ世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表
		・東アジア世界の展開とモンゴル帝国	a：10～12 世紀の東アジア内の交流と再編からモンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。 b：「清明上河図」や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。 c：10～12 世紀の東アジアやモンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

		・大交易・大交流の時代	a:「世界の一体化」が始まった時期のアジア貿易の活況と、同時期のヨーロッパの海洋進出の動機や背景、経緯を理解している。 b:アジア内およびアジアと世界の交流およびヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c:アジア交易世界について、ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表
		・アジアの諸帝国の繁栄	a:明清・オスマン帝国・サファヴィー朝・ムガル帝国を同時代に成立した似たような帝国として理解している。 b:アジアの諸帝国の共通点やヨーロッパとの比較、また従来の王朝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。 c:アジアの諸帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

		・近世ヨーロッパ世界の動向	a:16 世紀のルネサンスや宗教改革から 17 世紀の科学革命にいたる西ヨーロッパの変化について理解している。 b:主権国家体制の成立と戦争の関係、またイギリスが覇権を握るに至った要因を啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c:16 世紀から 17 世紀にいたる西ヨーロッパの変化について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表
	諸地域の結合・変容	・産業革命と環大西洋革命	a:市民革命におけるさまざまな主義主張の特徴や近代の出発点としての意義を理解している。その後のヨーロッパ各国の動向について時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。 b:当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計を読み解きながら、当時の社会について考察をする。 c:市民革命や産業革命、その後の 19 世紀のヨーロッパについて自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

		・イギリスの優位と欧米国民国家の形成	a: 19 世紀前半のヨーロッパ情勢をウィーン体制や 1848 年革命を中心に、また 19 世紀後半のヨーロッパ各国の情勢がどのように推移したのかを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。 b:イタリアとドイツの統一を示す地図や、アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、ヨーロッパの再編やアメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 c:ウィーン体制、19 世紀後半のヨーロッパの再編成、アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表
		・アジア諸地域の動揺	a: オスマン帝国・イラン・中国の動揺や改革の試みの成果や課題を理解している。ヨーロッパ各国の進出とそれによる南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。 b: 地図やプランテーションを示す図像資料をもとに、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。文字資料「マカートニーの日記」やアヘン戦争を描いた図像資料をもとに東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 c:西洋の衝撃に対するアジア各地の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

	諸地域の結合・変容	・帝国主義とアジアの民族運動	a:帝国主義時代に列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化、またアジア各地における改革や民族運動がどのように展開したのかを理解している。 b:欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景、列強による世界分割が各地に与えた影響、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。 c:帝国主義や列強の世界分割、アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表
		・第一次世界大戦と世界の変容	a: 第一次世界大戦とロシア革命、第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容、大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響などとあわせて理解している。 b: 「十四カ条」などの資料をもとに、1920 年代の欧米各国における変容やアジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

3学期		・第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	a:世界恐慌からヴェルサイユ体制の崩壊、第二次世界大戦、さらにその後に形成された国際秩序の特徴にいたる過程を理解している。 b: 政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や「盧溝橋事件に関する廬山談話」の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、また戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c:第二次世界大戦にいたる原因や、戦争の実態、その後の国際秩序の再建について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表
	地球世界の課題	・冷戦と第三世界の台頭	a:冷戦の展開、第三世界の形成、1970 年代の冷戦体制の動揺について、核開発の動きなどとあわせて理解している。 b: 「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 冷戦の展開、第三世界の形成、1970 年代の冷戦体制の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

		・冷戦の終結と今日の世界	a：1960～1980 年代の経済構造の変化や冷戦の終結、その後の世界情勢を経済構造の変化をふまえて理解している。 b：原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c：今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和７年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	５単位	年次	３年次
使用教科書	『詳説日本史』　（山川出版）						
副教材等	『ウィニングコンパス日本史の整理と演習』（東京法令出版） 『最新日本史図表』　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・年号や用語の機械的な暗記ではなく、教科書に基づいて、歴史的な文脈のなかで歴史的事象を理解することを大切にします。ただし、基礎的な知識は、正確な理解に不可欠なものです。
・基礎的な知識は、授業でも扱いますが、『ウィニングコンパス日本史の整理と演習』（東京法令出版）を用いた家庭学習も合わせて行い、習得をめざします。
・教科書の本文を理解するために、『最新日本史図表』（第一学習社）を活用して、学習する時代を具体的にイメージしながら、理解を深めていきます。

２　学習の到達目標

知識・技能
・２年生での歴史総合の学習を踏まえて、世界情勢と関連づけながら、日本の古代～近現代史について基本的な知識を身に着ける
思考・判断・表現
・習得した歴史的な出来事に関する知識、資料の読み取りを通して歴史的思考力を身につける。
主体性
・日本史探究を学ぶことで、日本史に対する興味・関心を高めるとともに、歴史的な見方を通じて、現代社会に対する理解と、社会をよりよくしようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	日本文化のあけぼの	1文化の始まり 2農耕社会の成立	a:日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけている。 b:黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 c:黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。日本列島における農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察することを通じて、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	古墳とヤマト政権	1古墳文化の展開 2飛鳥の朝廷	a：国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 b：中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 c：中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	律令国家の形成	1律令国家への道 2平城京の時代 3律令国家の文化 4律令国家の変容	a:隋･唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。平城京における大宝律令･養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 b:天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墾田永年私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現している。 c:隋･唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	貴族政治の展開	1摂関政治 2国風文化 3地方政治の展開と武士	a:藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解している。地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。 b:奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。 c:唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	院政と武士の躍進	1院政の始まり 2院政と平氏政権	a：貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 b：武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	武家政権の成立	1鎌倉幕府の成立 2武士の社会 3モンゴル襲来と幕府の衰退 4鎌倉文化	a:諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。公武関係の変化やユーラシアとの交流などに着目し、鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 b:幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異につい	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

			て、主体的に追究しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

	武家社会の成長	1 室町幕府の成立 2幕府の衰退と庶民の台頭 3室町文化 4戦国大名の登場	a：鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 b：南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。室町時代の文化の特徴と、当時の政治や経済の動向との関係を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現している。 c：武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。15 世紀から 16 世紀にかけて争乱が多発した理由な	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

			ど、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。			
2学期	近世の幕開け	1織豊政権 2桃山文化	a：村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を読み取り、理解している。 b：織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	幕藩体制の成立と展開	1幕藩体制の成立 2幕藩社会の構造 3幕政の安定 4経済の発展 5元禄文化	a:織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解している。都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17 世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 b:織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相について、根拠を示して表現している。戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察し、そのつながりを見出そうとしている。幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究しようとしている。近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしようとしている。幕藩体制が	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

			安定していく中での経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17 世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

	幕藩体制の動揺	1幕政の改革 2宝暦・天明期の文化 3幕府の衰退と近代への道 4化政文化	a：幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。幕藩体制下の社会の変容に着目して、宝暦・天明期こおける新たな学問の確立、各地に設立された教育機関の展開を理解している。列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。政治・経済と文化の関係などに着目して、19 世紀初期の経済の動向や江戸を中心とする庶民文化の形成について理解している。 b：商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。政治・経済と文化の関係に着目して、宝暦・天明期における文化の展開について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。近世後期に形成された文化と近代以降の	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

			文化との関係性について、学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出そうとしている。			
	近世から近代へ	1開国と幕末の動乱 2幕府の滅亡と新政府の発足	a：明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 b：諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	近代国家の成立	1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立	a:明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 b:諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	近代国家の展開	1 日清･日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制	a:日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国･朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 b:議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的･多角的に考察し、表現している。 c:対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。対外戦争がもたらした国内的･国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

			的に追究しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

	近代産業と生活	1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化	a：産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 b：地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	恐慌と第二次世界大戦	1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	a：国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 b：ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 c：当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

			次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。			
3学期	占領下の日本	1占領と改革 2冷戦の開始と講和	a:第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 b:戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。 c:現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	高度成長の時代	1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ	a:保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 b:日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・ＬＴ貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 c:55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	激動する世界と日本	1経済大国への道 2冷戦の終結と日本社会の変容	a:ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 b:日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和７年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	地理総合演習	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　新総合地理」（帝国書院）						
副教材等	「新詳地理資料 COMPLETE2022」（帝国書院）、「地理総合の研究」（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

共通テストで出題される「地理総合・公共」の地理分野を演習形式で学びます。1 年で学んだ地理総合の内容をしっかり理解したうえで、思考力を働かせて様々な出題形式に慣れていきましょう。

２　学習の到達目標

１年で学習した地理総合の学習内容をさらに深め、実践的な問題演習を行う。
知識・理解
共通テストの「地理総合・公共」を想定した問題の解答に必要な知識を身につける。
思考・判断・表現
共通テストの「地理総合・公共」を想定した問題の解答に必要な思考・判断力を身につける。
主体的に学習に取り組む態度
共通テストが求める学力水準到達をめざし、できる限り多くの問題を意欲的に解いていく。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地誌・系統地理を理解するのに必要な基本的な知識や資料・データを理解するのに必要な力を身に付けている。 これら知識・技能をもとに演習問題に取り組める。	人口、面積、産業、土地利用、宗教文化、自然災害などの各領域において、基本的知識や資料・データを論理的、批判的に分析、探究して、複合的に地理的事象を考察する力を身に付けている。他者との協働を含め、考察をまとめて表現する中で、考察を広げたり深めたりしている。これらの思考・判断をもとに演習問題に取り組める。	グローバル社会における地域文化の変遷と相互関連、国際理解、防災などのテーマにかかわって、地理的思考を行うことができる。世界市民としての社会的良識を育み、自覚的に他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生活文化の多様性と国際理解	(1)世界の地形と人々の生活 (2)世界の気候と人々の生活 (3)世界の言語・宗教と人々の生活 (4)歴史的背景と人々の生活 (5)世界の産業と人々の生活	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:自然環境と社会環境の多様性について考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	定期考査	定期考査	提出課題 振り返りシート
	地図でとらえる現代社会	(1)地図と地理情報システム (2)グローバル化する世界	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:地図や地理情報システム、統計資料から必要な情報やデータにアクセスし、これらを活用して課題を考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	定期考査	定期考査	提出課題 振り返りシート
2	地球的課題と国際協力	(1)地球環境問題 (2)資源エネルギー問題 (3)人口問題 (4)食料問題 (5)都市・居住問題	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:地球的諸課題とその相互の関連について考察し、問題解決に向けてのアイデアや問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	定期考査	定期考査	提出課題 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3	未来に向けて	未来社会に生きる市民に必要なものは？	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:現代社会の諸課題を考察し、解決に向けてのアイデアや問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	レポート	レポート	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和７年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史」　（山川出版社）						
副教材等	「アカデミア世界史」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2 年次の「歴史総合」で取り上げた近代後期以降の歴史を世界史分野にフォーカスし、現代にいたる政治、経済、文化など各領域での動きをフォローしていきます。映像や音声を含む資料から事象やその背景にあるものを読み解き、私たちが生きる現代の世界がどのようにして成り立ってきたかを多角的に理解する力を養います。混迷する現代社会のその先に来るものを意識しつつ、基本的な近現代の歴史事象を理解していきましょう。

2　学習の到達目標

・２年で学習した歴史総合の知識・理解と思考・判断をさらに発展させる。
知識・理解
近現代の世界史における政治、経済、国際関係、宗教、文化などについて応用的な知識を得る。
思考・判断・表現
近現代の世界史における諸領域を分析・探究する方法を身につける。
主体的に学習に取り組む態度
世界市民として現代を生きる知的態度を身につける。特に現代史については、世界情勢と関連づけながら学習する習慣をつける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の世界史を理解するのに必要な基本的な知識や資料・データを理解するのに必要な身に付けている。	政治、経済、国際関係、宗教文化などの各領域において、基本的知識や資料・データを論理的、批判的に分析、探究して、複合的に歴史を考察する力を身に付けている。他者との協働を含め、考察をまとめて表現する中で、考察を広げたり深めたりしている。	「歴史とは、現在と過去の不断の対話である」 歴史がもつ価値を自覚し、現代社会の情勢を歴史と関連付けて考えることができる。 世界市民としての社会的良識を育み、自覚的に他者や社会に関わろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第一次世界大戦	(1)第一次世界大戦とロシア革命 (2)ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 (3)アジア・アフリカの民族運動	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:戦争勃発の原因と背景、結果としての戦後世界の推移、時代的な生活や社会の変容について考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題振り返りシート
	第二次世界大戦	(4)世界恐慌とファシズム諸国の侵略 (5)第二次世界大戦 (6)戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:戦争勃発の原因と背景、結果としての戦後世界の推移、時代的な生活や社会の変容について考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 振り返りシート
2	冷戦と第三世界	(7)米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 (8)第三世界の台頭と米ソの歩み寄り (9)石油危機と世界経済の再編	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:冷戦の背景、その後の世界の推移、時代的な生活や社会の変容について考察し問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	現在の世界	(10)社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 (11)途上国の民主化と独裁政権の動揺 (12)地域紛争の激化と深刻化する貧困	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:ポスト冷戦の歴史的推移、時代的な生活や社会の変容について考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 振り返りシート
3	未来に向けて	(13)現代文明の諸相	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:現代社会の諸課題を歴史的経緯から考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	レポート	レポート	提出課題 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和７年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『詳説日本史』　（山川出版）						
副教材等	『ウィニングコンパス日本史の整理と演習　２０２５』（東京法令出版） 『最新日本史図表』　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・年号や用語の機械的な暗記ではなく、教科書に基づいて、歴史的な文脈のなかで歴史的事象を理解することを大切にします。ただし、基礎的な知識は、正確な理解に不可欠なものです。
・基礎的な知識は、授業でも扱いますが、『ウィニングコンパス日本史の整理と演習　２０２５』（東京法令出版）を用いた家庭学習も合わせて行い、習得をめざします。
・教科書の本文を理解するために、『最新日本史図表』（第一学習社）を活用して、学習する時代を具体的にイメージしながら、理解を深めていきます。

２　学習の到達目標

知識・技能
・２年生での歴史総合の学習を踏まえて、世界情勢と関連づけながら、日本の近現代史について基本的な知識を身に着ける。
思考・判断・表現
・習得した歴史的な出来事に関する知識、資料の読み取りを通して歴史的思考力を身につける。
主体性
・日本の近現代史を学ぶことで、日本史に対する興味・関心を高めるとともに、歴史的な見方を通じて、現代社会に対する理解と、社会をよりよくしようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	近代国家の成立	1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立	a:明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 b:諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	近代国家の展開	1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制	a：日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 b：議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

2	近代産業と生活	1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化	a:産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 b:地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	恐慌と第二次世界大戦	1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	a:国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 b:ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 c:当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	占領下の日本	1占領と改革 2冷戦の開始と講和	a:第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 b:戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。 c:現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	高度成長の時代	1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ	a:保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 b:日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・ＬＴ貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 c:55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

3	激動する世界と日本	1経済大国への道 2冷戦の終結と日本社会の変容	a:ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。冷戦終結後の国際関係、55 年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 b:日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	問題演習	政治史 社会史 文化史 問題演習	a:歴史的事象について正確な知識を獲得し、日本近現代史を一連の流れの中で理解している。 b:正確な知識をもとに、相互の関係性や歴史的文脈のなかで、政治、経済、社会、文化の動きを相互に関連性を考えることができる。 c:これまで学習した内容から、自分で問いを考えることができる。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度